

年間計画

月	主な内容
4	着任式 始業式 入学式 任命式 授業参観 学級懇談会 全体懇談会 各種検診・測定 避難訓練 家庭訪問
5	全校遠足 学校運営協議会 PTA廃品回収
6	いきいき交流会 プール開き・水泳指導
7	あいあい榊原との交流会 水棲生物観察会 大掃除 個別懇談会 終業式
8	
9	始業式 PTA奉仕作業 身体測定 教育相談 児童委員会 運動会 教育実習 祖父母参観
10	修学旅行 学校運営協議会 地域学習会
11	授業参観 引き渡し訓練 PTA人権講演会
12	教育相談 校区人権フォーラム 大掃除 個別懇談会 PTA廃品回収 終業式
1	始業式 書き初め大会 避難訓練 身体測定 学校保健委員会
2	入学説明会 学校運営協議会 みんなスマイルぼかぼか発表会 (人権学習発表会) 6年生を送る会
3	小中交流 大掃除 卒業式 修了式

安全点検 5月・7月・9月・11月・1月・3月

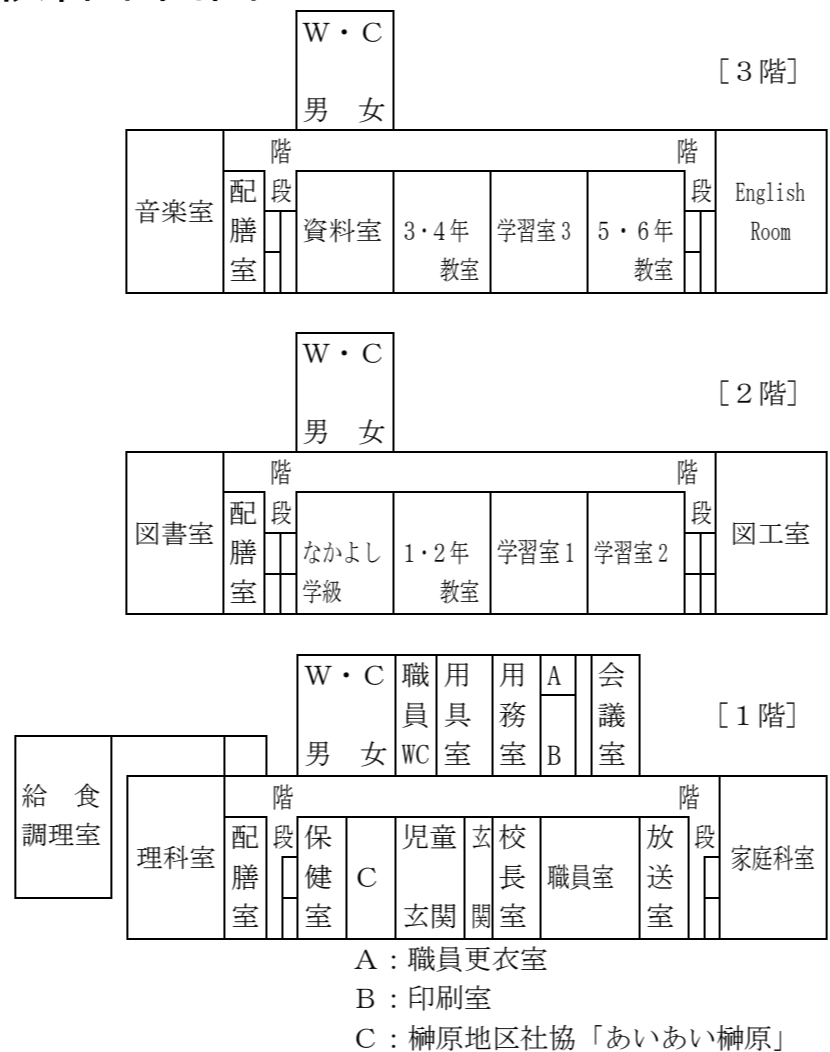
通学団集会 4月・7月・12月・3月

クラブ活動 5月・10月・11月・2月

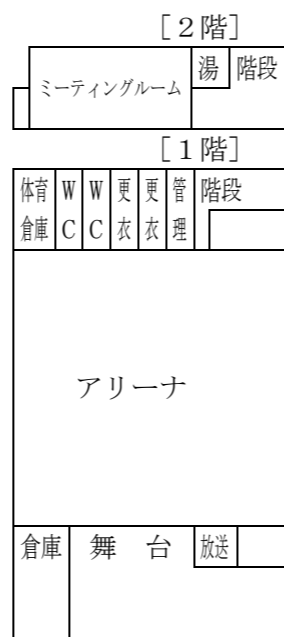
地区学習会 6月・10月・11月・12月・1月

登校指導 4月・6月・9月・11月・1月・3月

校舎平面図



屋内運動場



令和4年度

学校要覧



三 二 一

大きな空と布引が
いつも窓から よんでいる
明るい学校 榊原
心そそぐ春にはひらく
つじのように 楽しいわれら
昔がたりもなつかしい
ななくりの湯は あたたかく
あふれる健康 榊原
つよくたゆまず やりぬく意気も
胸にわきたつ 元気なわれら

松にさくらに 来る鳥が
きょうもなかよく よんでいる
たゆまぬ勉強 榊原
力集めて 秋にはたわむ
稲穂のように みのろうわれら

校歌

勝 承夫 作詞
下総 皖一 作曲

津市立榊原小学校

〒514-1251

三重県津市榊原町5848

TEL 059(252)0011

FAX 059(252)2491

HP <http://ednet.res-edu.ed.jp/s-sakakibara/>



学校の沿革

明治 8年 6月 1日	榊原小学校、谷杣学校創設
明治22年10月17日	榊原尋常小学校設立（創立記念日）
明治44年 7月 6日	谷杣学校廃止
大正15年 7月	榊原青年学校併設
昭和13年 5月13日	木造新校舎・講堂落成
昭和16年 4月 1日	榊原国民学校と改称
昭和22年 4月 1日	榊原村立榊原小学校と改称
昭和30年 3月 1日	久居町立榊原小学校と改称
昭和32年 2月	新校歌制定
昭和38年 8月11日	プール完成
昭和44年 3月	岩石園完成
昭和45年 8月 1日	久居市立榊原小学校と改称
昭和50年11月 3日	学校創立百周年記念式典
昭和57年 3月27日	現校舎落成
昭和61年 2月10日	屋内運動場落成
平成 5年 3月	正門完成
平成 9年 3月	運動場北側法面工事完成
平成12年 2月	運動場北端に鳥小屋完成
平成12年 8月	運動場暗渠排水工事完成
平成12年10月	コンピューター室完成
平成13年 4月	体育用砂場、遊戯用砂場完成
平成14年 6月	プール内部及び周辺修理
平成18年 1月	市町村合併により 津市立榊原小学校と改称
平成20年 8月	浄化槽修理
令和 元年 6月	全教室空調設備完成

児童・地域の実態と概要

伊勢湾を望む布引山系の麓、津市久居地区の最西部に位置する榊原は、のどかな山野に囲まれた自然の佇まいの中に民家が散在する。温泉の町としても知られ、地域は徐々に変化しつつも、今も昔と変わらぬ風情を醸し出している。

本校には、かつては400人以上の児童が在籍していた時代もあったが、現在は28人と年々減少し、平成30年度より複式学級を有する学校となった。（本年度は3学級が複式学級である。）

ほとんどの家庭は三世代同居で、両親が市の中心部等に働きに出かけ、祖父母のもとへ下校していく子どもが多い。

少人数であるため、子どもたちは自分の思いを積極的に表現したり、お互いに切磋琢磨したりする機会が少なく、コミュニケーション能力や自ら課題を発見し解決する力、困難なことや苦手なことを乗り越えるたくましさを身につけることが必要だと思われる。そこで本校では、自分で考えて行動し、課題を乗り越えるために努力する児童の姿を目指している。児童一人ひとは純朴で人懐っこく活気もあり、地域や集団生活の中で感謝の気持ちや相手を思いやる心が育ちつつある。さらには、お互いに認め合い支え合う仲間意識の伸長へと発展させていきたい。

明治8年の榊原小学校創設以来、140年以上の永き歴史の中に、輝かしい文化・伝統・校風は脈々として受け継がれ、児童の地域学習に関して多大な協力をいただいている。

学校経営の改革方針

教育目標

心豊かで、確かな学力をもち、心身ともに健やかな子どもの育成

めざす学校像

- ともに学び高め合いながら、一人ひとりの子どもが生き生きと輝く学校
- 地域の教育力を活用し、創造性豊かで活力のある学校
- 保護者や地域とともに、小規模・少人数の利点を生かした教育活動の充実をめざす学校

本年度の行動計画

- （1）確かな学力の定着と体力の向上を図る。**
 - 少人数によるきめ細かな学習指導により、基礎的・基本的な知識・技能の習得に努める。
 - わかる授業、楽しい授業の実践や「ばらっこタイム」の活用などにより、学習意欲の向上に努める。
 - 体力テスト等を実施し、その結果分析から体育の授業や体育的行事を見直し、体力の向上に努める。
 - 「めあて」と「ふりかえり」を充実させ、わかる授業、楽しい授業をめざす。児童一人ひとりのタブレットを活用した授業の実践をさらに進め、効果的な利用をめざす。
 - 家庭学習の習慣化の徹底に努める。（自主学習ノートの活用、メディアコントロールデーの取組）

- （2）人権尊重の精神を育成する。**
 - 仲間づくりや人との出会いなどを通して、いじめや差別を許さない感性や態度の育成に努める。
 - 「人権集会・地区学習会」を開催し、学習の成果を交流し、人権意識の高揚を図る。
 - 保護者や地域住民への啓発活動を行い、人権意識を高める。

- （3）地域に対する誇りと愛着を育てる。**
 - 地域コーディネーターとの連携のもと、地域の教育力を活用するとともに、地域の人たちとの交流を通して、地域の自然や歴史、人との関わりについての学習を深める。

- （4）コミュニケーション能力や課題解決力を育成する。**
 - たてわり班活動を学習や行事、集会から日常生活に至る幅広い場面において展開することにより、子どもたちの人間関係を活性化させる。

- （5）一人ひとりの可能性を伸ばし、自信と意欲をもたせる。**
 - すべての子どもたちに自分の課題を乗り越えさせる教育活動を進める。
 - 校内研修を充実させ、一人ひとりの課題の分析と克服に向けた手立てを検討し、成果を検証する。

- （6）教職員が働きやすい環境づくりに向け、総勤務時間の縮減に取り組む。**
 - 週一回の定時退校日を定め、過重労働時間の縮減をめざす。
 - 休暇取得日数取得を年間3日間の増加（昨年度比）をめざす。

日課表

	月	火	水	木	金
8:20～ 8:30	ばらっこタイム(職員打ち合わせ)				
8:30～ 8:45	朝の会・朝の学習				
8:45～ 9:30	第 1 限				
9:35～10:20	第 2 限				
10:40～11:25	第 3 限				
11:30～12:15	第 4 限				
12:15～12:50	給 食				
12:50～13:20	休 憩	13:10～13:55			休 憩
13:20～13:35	清 掃	第5限			清 掃
13:40～14:25	第5限	13:55～14:05			第5限
14:30～15:15	第6限	帰りの会			第6限
15:20～15:30	帰りの会	クラブ等がある場合 4・5・6年は6限			帰りの会

在籍児童数及びP数（4月7日現在）

	男	女	計	PIA会員数
1 年	1	2	3	1
2 年	0	2	2	2
3 年	2	3	5	4
4 年	1	3	4	4
5 年	1	5	6	6
6 年	2	6	8	8
合 計	7	21	28	25

職員組織

校長	福島 由夏	養護（育児休業）	平松 博美
教頭	西尾 潤一	養護	加藤 福
1・2年担任	鵜飼みづほ	事務職員	久保 隆男
3・4年担任	瀧川 智子	用務員	加藤 京子
5・6年担任	辻井 理	調理員	上園さおり
なかよし学級担任	水戸路恭佑	調理員	多氣 敦子
児童支援担当	川島 優子	A L T	近藤 裕子
児童支援担当	辻本 泰宏	図書館司書	西山 律子
教育課題対応担当	村山 恵子	スクールサポートスタッフ	松田 雅哉
三複式対応担当	上野ひと美	人権教育指導員	前田なをみ
		スクールカウンセラー	小西 正純